



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要					
建物名称	ナカジマ鋼管(株)天竜川製造所105号棟	BEE	1.2	BEEランク	B+
					★★★

2. 重点項目への取組み度					
重点項目	得点*/満点	取組み度	評価		
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.3	/5	ふつつ		
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.5	/5	がんばろう		
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.0	/5	ふつつ		
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.2	/5	がんばろう		
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4点以上	ふつつ 3点以上	がんばろう 3点未満

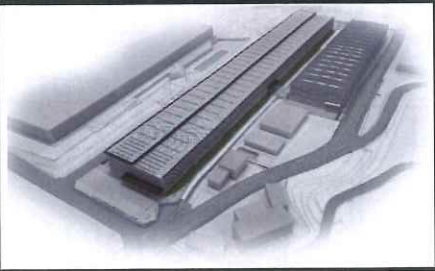
3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目				
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。						
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)		得点		3.3		
<ul style="list-style-type: none"> ■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ④空調・給排水配管は全てC以上の配管を採用 	Q-1	2	2.1	2.1.2	① 外皮性能	
	Q-1	3	3.1	3.1.3	② 昼光利用設備	
			3.2	3.2.1	③ 昼光制御	
	Q-2	2	2.2	2.2.1	④ 躯体材料の耐用年数	
<ul style="list-style-type: none"> ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) 特になし 	Q-3	1			⑤ 生物環境の保全と創出	
		3	3.2		⑥ 敷地内温熱環境の向上	
<ul style="list-style-type: none"> ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑨高効率LED照明の採用 	LR-1	1			⑦ 建物外皮の熱負荷抑制	
		2			⑧ 自然エネルギー利用	
		3			⑨ 設備システムの高効率化	
		4	4.1		⑩ モニタリング	
<ul style="list-style-type: none"> ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪節水型機器の採用 ⑫鉄骨造とし外壁はサイディングを採用 	LR-2	1	1.1		⑪ 節水	
			1.2	1.2.1	⑪ 雨水利用システム導入の有無	
			1.2	1.2.2	⑪ 雑排水等利用システム導入の有無	
		2	2.1		⑫ 材料使用量の削減	
			2.2		⑫ 既存建築躯体等の継続使用	
			2.3		⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用	
			2.4		⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	
			2.5		⑫ 持続可能な森林から産出された木材	
			2.6		⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み	
		3	3.1		⑬ 有害物質を含まない材料の使用	
<ul style="list-style-type: none"> ■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭一部リサイクル材の採用 	LR-3	1			⑭ 地球温暖化への配慮	
		2	2.2		⑮ 温熱環境悪化の改善	
	"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)		得点		2.5	
	<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑰検査室空調・工場換気ファンは2台以上を設置した 	Q-2	2	2.1	2.1.1	⑯ 耐震性
				2.1.2	⑯ 免震・制振性能	
			2.4	2.4.1	⑰ 空調・換気設備	
			2.4.2	2.4.2	⑰ 給排水・衛生設備	
			2.4.3	2.4.3	⑰ 電気設備	
			2.4.4	2.4.4	⑰ 機械・配管支持方法	
			2.4.5	2.4.5	⑰ 通信・情報設備	
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)		得点		3.0		
<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑳高い階高を確保 	Q-2	1	1.1	1.1.3	⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画	
		3	3.1	3.1.1	⑳ 階高のゆとり	
			3.1.2	3.1.2	⑳ 空間の形状・自由さ	
<ul style="list-style-type: none"> ■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) 特になし 	Q-3	3	3.1		㉑ 地域性への配慮、快適性の向上	
	"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)		得点		2.2	
<ul style="list-style-type: none"> ■室外環境(敷地内)対策 (②生物環境の保全と創出/③まちなみ・景観への配慮/④敷地内温熱環境の向上) ②建物の外壁は周辺の景観との調和をとっている 	Q-3	1			② 生物環境の保全と創出	
		2			③ まちなみ景観への配慮	
		3	3.2		④ 敷地内温熱環境の向上	
<ul style="list-style-type: none"> ■敷地外環境対策 (⑤持続可能な森林から産出された木材/⑥温熱環境悪化の改善) 特になし 	LR-2	2	2.5		⑤ 持続可能な森林から産出された木材	
	LR-3	2	2.2		⑥ 温熱環境悪化の改善	

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ナカジマ鋼管燐天龍川製造所105号	階数	地上2F
建設地	静岡県袋井市浅羽町字谷田3875	構造	S造
用途地域	指定なし	平均居住人員	5人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,800時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2023年5月 竣工	評価の実施日	2023年3月30日
敷地面積	26,791 m ²	作成者	三好裕司
建築面積	17,643 m ²	確認日	2023年4月5日
延床面積	18,370 m ²	確認者	三好裕司



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 83%

③上記+②以外の 83%

④上記+ 83%

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.6

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合 これはCASBEE静岡(2016年版)による評価結果です。		その他
Q1 室内環境	Q2 サービス性能 高い階高を確保	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
LR1 エネルギー 特になし	LR2 資源・マテリアル 一部リサイクル材を使用	LR3 敷地外環境 光害対策に配慮

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される